

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年8月7日（木）

2 確認箇所

免震重要棟集中監視室

3 確認項目

多核種除去設備等処理水の放出状況（第14回）

4 確認結果の概要

本日（8月7日）本年度3回目（累計14回目）となる多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）の放出が開始されたことから、免震重要棟集中監視室において、放出時の監視・制御装置の操作状況を確認した。【前回確認日：令和7年7月14日（第13回放出）】

放出対象：ALPS処理水（測定・確認用サンプルタンクA群）

予定放出量：約7,800 m³

予定期間：令和7年8月7日（木）～同年8月25日（月）

<免震重要棟集中監視室における操作状況>

- ・操作指揮者の指示のもと、操作手順書に従い二人一組の操作員が、復唱及び指差呼称による確認をしながら監視・制御装置の操作を進めていた。

（写真1）

- ・ALPS処理水のトリチウム濃度の分析結果を監視・制御装置に入力した後、入力値が正しいことを複数人で確認していた。併せて、海水によるALPS処理水の希釈倍率が約730倍であり、希釈倍率の基準である200倍を超えて希釈されていることが確認された。
- ・系統のライン構成及び現場における弁状態の確認終了後、「ALPS処理水移送許可キースイッチ」がONにされ、放出が開始された。

なお、当該キースイッチは、誤操作防止のためプラ製のカバーで覆われており、弁状態が規定どおりであることの確認を受けた後、許可者から指示を受けてからキーのON操作が行われた。（写真2）

- ・ALPS処理水放出に当たり、漏えい検出器の作動やその他の警報発生はなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1) 免震重要棟集中監視室における操作状況



(写真2) 測定・確認用サンプルタンクA群移送工程開始の状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。